学校番号	２０８

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新家庭総合「パートナーシップでつくる未来」　（実教出版）						
副教材等	ニュービジュアル家庭科　資料＋成分表２０１９　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

人はそれぞれ様々な価値観をもっており、それによっていろいろな家族の形や暮らし方があることに気づいてほしいと思います。また、家庭生活や地域社会を営むには、男女の協力も必要です。ニュースや社会問題にも目を向け、自分のライフコースを描けるようになって欲しいと思います。

2　学習の到達目標

人の人生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 プリントの記述 発表、自己評価等	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果 発表、自己評価等	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果 レポート、発表、 自己評価等	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果 レポート、発表、 自己評価等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学 期	衣生活をつくる	○人と衣服のかかわり ○衣服の機能 ○衣服の素材を見てみよう ○衣生活の管理 ○衣服をつくろう	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:衣服の管理や、健康で快適な衣生活に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:健康で快適な衣生活について、課題を見いだし、解決方法を考えたり意見をまとめたりすることができる。 c:被服製作、被服整理などを生活に活かす技術を身に付けている。 d:被服の機能と着装、被服材料、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 製作物 定期考査
2 学 期	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	○	○	○	○	a:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b:生活上の課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c:計画に沿ってホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践することができる。 d:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている。	ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 自己評価 相互評価

2 学 期	食生活をつくる	○人と食物のかかわり ○私たちの食生活 ○栄養と食品のかかわり ○食品の選び方と安全 ○食事の計画と調理	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	a:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:食事と健康について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:健康で安全な食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を実習を通して実践している。 d:栄養、食品、調理、食品衛生について科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身につけている。	授業観察 ワークシート 実習レポート 自己評価 相互評価 定期考査
3 学 期	子どもとかかわる	○子どもを知る ○発達のすばらしさ ○子どもの生活 ○親になることを考えよう ○すこやかに育つ環境	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○	a:子どもの発達と保育について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの発達と保育について、現代の家族が抱える課題を見いだし、その解決方法を考えたり、表現したりている。 c:子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 d:子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 発表 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。